

平成17年5月27日

東京都足立区 [REDACTED]
半澤一宣 様

東京都墨田区押上一丁目1番2号
東武鉄道株式会社

拝啓 新緑の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は東武鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。

さて、平成17年4月28日付第90525号書留内容証明郵便にていただきました文書につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

敬具

記

はじめに平成17年3月15日の伊勢崎線竹ノ塚駅構内第37号踏切道において発生した死傷事故につきましては、安全運行を使命とする鉄道事業において、当社があってはならない事故を引き起こしましたことに対し、誠に申し訳なく、ここに謹んでお詫び申し上げます。

ご質問につきましては、今回の事故に関するものならびに車両貫通路構造に関するものを頂戴いたしました。前段につきましては、現在警察当局の捜査が継続しており、当社もこれに協力しておりますので、本件に関連するご回答については、捜査に支障のない範囲内でご回答申し上げます。

はじめに、ご指摘の当社百年史に記載された内容につきましては、当時の時代背景の中における当社の現状そして考え方を、百年史編纂の際、ひもときながら記したものであると認識しております。

ご質問の前段につきましては、今回このような事故を発生させたことを、私達東武鉄道に従事する社員一人一人が深刻に受け止め、今後再びこのような事故を発生させないよう、安全対策を講じてまいります。平成17年4月22日には、当社、東京都、足立区より踏切を通行される皆様の緊急設備対策を発表させていただきましたが、引き続き安全対策については万全を期するため、種々の検討を重ねるとともに、当該踏切道につきましては、鉄道と道路の立体交差化による踏切道の除却が最終的な目標と考えておりますので、関係機関と引き続き協議し、積極的に検討を進めてまいりますとともに、東武鉄道の総力を挙げて事故の再発防止と、公共交通機関としての社会的信頼の回復に向けて努力していく所存でございます。

次に、ご質問の後段であります。当社線をご利用中にあわれたトラブルにつきましては、当社といたしましても遺憾に存じます。車内における暴力行為への対応につきましては、警察との連携を図り、今後も厳正に対処してまいりたいと考えております。

また、当社では乗務員室部分の貫通路につきましては、扉を施錠できなくなる構造への改造、遮光幕についても下げられないようにする改造を実施しております。当該機器取扱の作業係員へのご指摘については徹底を図ってまいります。

最後に、今回の事故につきまして、ご利用のお客様ならびに地域近隣の皆様に多大なるご心配とご不安をおかけいたしましたことを重ねて深くお詫び申し上げ、ご回答とさせていただきます。

以 上



東京都足立区

半澤 一宣 様

配達証明



東武鉄道株式会社

〒131-8522
東京都墨田区押上一丁目1番2号

(発信か所)

営業部CSサービス課

TEL ()

平成 17 年 5 月 27 日